

第 35 回医療体育研究会／第 18 回日本アダプテッド体育・スポーツ学会 第 16 回合同大会が、2014 年 12 月 6 日（土）～7 日（日）神戸女学院大学にて開催されます。

昨年度の第 15 回合同大会の閉会式で、第 16 回合同大会の実行委員長を拝命した挨拶にて、①両学会の連携の継続、②2020 東京パラリンピック開催決定からの最初の学会大会、③震災からの復興を唱えた東北地方から兵庫阪神地域へのバトンタッチ、の 3 つをお伝えさせていただきました。そして、今回の合同大会では、「アダプテッド・スポーツのこれから ～多様性とそのつながり～」というテーマを設けて、2 つのシンポジウムを企画しました。

まず、①両学会の連携の継続については、国内には障がい者スポーツを対象とした学会や研究会がいくつか活動しておりますが、これまで直接的な情報交換および共有の機会に恵まれないまま歩んで参りました。また歴代の両学会長より、このことは懸案事項の一つであることも引き継ぎました。そこで、私ども合同大会実行委員会では、いろいろな意味合いにおいて、日本の障がい者スポーツ界が転換期を迎えたことを機会に、関連学会を代表する先生方にお集まりいただいて、「障がい者スポーツ界の変革期～関連学会にできること～」をテーマとするシンポジウム（プログラムではシンポジウムⅡ）を企画しました。

次に、②2020 東京パラリンピック開催決定からの最初の学会大会であることについてです。折しも、2013 年度に（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団から「我が国のパラリンピアンを取り巻くスポーツ環境調査」報告書が出されました。この調査研究には、JASAPE および医療体育研究会から複数名の会員も関わっていらっしゃいました。2020 東京パラリンピック開催に関わる内容をプログラムに入れたいと考えていた私たちの思い。そして、財団が調査研究結果の発表の機会を模索していたこともあり、今回「パラリンピック選手強化の現状と課題」というテーマで、（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団と共催という形で、貴重な情報を共有するためのシンポジウム（プログラムではシンポジウムⅠ）を設けることとしました。

さらに、③震災からの復興については、2015 年 1 月 17 日で阪神淡路大震災から 20 年になります。合同大会日程は、12 月 4 日（木）から予定されている、阪神淡路大震災を契機に鎮魂と追悼、街の復興を祈念して行われる観光イベント「神戸ルミナリエ」期間ですので、元気になった街の様子にも触れていただく機会になれば幸いです。

なお、本年度の合同大会日程は 2 日間ともに第 24 回日本障がい者スポーツ学会大会と重なってしまった関係上、シンポジストへの配慮から、関連学会のシンポジウムはシンポジウムⅡとして、2 日目午前中の開催となりました。加えまして、神戸女学院大学研究所・日本スポーツ体育健康科学学術連合から助成を受ける予定をしているため、一般公開になります。同様の事情を受けては、パラリンピック選手強化に関するシンポジウムが 1 日目午後開催になりました。また、（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団と協賛・共催しますので、一般公開としております。諸般の事情をお含みのうえ、ご理解くださいますようお願いいたします。

そして、会員のみなさまには口頭発表とポスター発表のどちらかの方法で一般発表を行っていただきたいと考えています。できるだけたくさんの方にご発表いただけるよう日程上の工夫もしていきたいと存じます。みなさまの発表申し込みを心よりお待ちしております。

実行委員長の力不足にて、ご迷惑をおかけすることも多いのですが、実行委員一同、合同大会にて、みなさまとお目にかかれまことを楽しみに、周囲の方々に支えていただきながら歩んでおります。引き続きまして、ご支援よろしくようお願い申し上げます。

7 月 7 日（月）

第 16 回合同大会実行委員長
金山千広（神戸女学院大学）